

**審査基準表**  
みやざきDXさがけプロジェクト推進事業 業務委託

選定委員による採点

審査項目	審査基準	合計 配点
1 全体的事項		
業務委託仕様書を踏まえた企画提案書となっているか。	・本事業の趣旨を理解し、事業目的に沿った提案となっているか。	15
2 委託業務内容		
(1)セミナー開催		
様々な参加者を想定し、デジタル技術の導入による変革（DX）をより身近なものと感じてもらえる内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なデジタル技術の実装事例から各産業のDX事例まで幅広く学ぶことができる内容となっているか。</li> <li>・登壇企業の選定は仕様書を踏まえた提案となっているか。</li> <li>・セミナー講師の選定は適切か。</li> <li>・無理のないスケジュールとなっているか。</li> <li>・オフライン、オンラインの使い分けが適切か。</li> </ul>	15
(2)DX塾の開催、先進地視察等		
①DX塾の開催		
DXをサポートできる、牽引できる人材を育成する内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集の方法など、ターゲットとなる団体などにしっかりと届く内容となっているか。</li> <li>・DX塾の内容（DXプラン策定等）やスケジュールなどが明確であり、無理がないか。</li> <li>・DXのD「デジタル技術」に関する内容から、X「業務変革」に関する内容まで、必要とされる内容を知ることができる内容となっているか。</li> <li>・自社のDXプラン策定が最終目的となった取組内容となっているか。</li> <li>・塾長（外部人材）の選定は適切か。また、役割が明確か。</li> <li>・新たなネットワークなどを形成する工夫がされているか。</li> </ul>	35
②先進地視察等		
DXに関して、各産業で先駆的に活躍している人材との交流や、事例の視察ができる内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な事例として適切か。</li> <li>・オフラインをオンラインに変更するなど、柔軟に対応できる内容となっているか。</li> </ul>	
(3)デジタル活用事例集の作成		
県内事業者などが各分野においてデジタル化に取り組もうと思った場合、その参考となるような事例集となっているか。	・事例の収集方法などが適切か。	5
(4)過去のDX塾卒業生に対するアフターフォロー		
令和4年度、令和5年度卒業生の活動状況の確認、課題の整理、サポートセンターとの連携したアドバイス、報告会の実施等の内容となっているか。	・活動状況の確認や課題の整理、アドバイス、報告会の実施など仕様書を踏まえた具体的な提案となっているか。	10
(5)本県産業のデジタル化、DXの今後の展望について		
令和4年度からの取組実績について、定量的・定性的に分析評価し、他県等の事例調査を踏まえた提案の内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度、令和5年度の本プロジェクトの取組実績を踏まえた定量的・定性的な分析・評価の方法など具体的な記載となっているか。</li> <li>・他県等の事例調査を踏まえた提案方法について、具体的な方法等の記載となっているか。</li> </ul>	5
3 体制、スケジュール		
委託業務の実施体制は十分か。	・委託業務を遂行するための体制が確立されているか。	5
全体をとおして、計画的なスケジュールとなっているか。	・求めている成果を実現するためのスケジュールが示されているか。	5
4 積算		
経費は、経済的な積算となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・※以下の方法で計算し、採点する。</li> <li>（※＝5×最も低い見積額÷審査対象者の見積額×補正係数）</li> </ul>	5
1から4の合計		
		100